

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度RI会長

K.R. ラビンドラン



第2780地区
大磯ロータリークラブ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル

TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 河本 親秀

会長エレクト 百瀬 恵美子

幹事 大藤 勉

第2362

例会

平成28年2月25日 No.30

■司会：田中 敏治

■点鐘：河本 親秀

■合唱：それこそロータリー

◇プログラム・3月3日：通常例会、理事会 ・3月10日：通常例会 ・3月17日：休会(定款適用)

◇出席報告	例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率	◇欠席者(7名)
	2362回	17(15)	8	53.33%	—	—	小林、宮澤、石山、原、太田 笹尾、大藤さん
	2359回	17(15)	8	53.33%	—	—	◇メイクアップ(0名)

◇会長報告

河本親秀会長

1. 2月19日、17時より、大磯プリンスHにて平塚湘南RC創立25周年記念行事開催

参加者約110名

：来賓ロータリー関係22名、地域関係11名、高山中央RC=姉妹クラブ19名、平塚湘南RC会員・家族57名、河野太郎国務大臣

記念講演：一般公開

講師：小西博之氏（俳優「欽ちゃんの週刊欽曜日」レギュラーメンバーとして有名）による「生きている素晴らしさ」と題する講演。末期腎臓癌の大手術で生き返り、闘病生活を通して得た人生観と他に対する感謝の心を伝えたい思いと身体障害者に対する支援活動の呼びかけを百数十名の聴衆を前にマイクなして語り、感銘を与えました。



記念式典：25年の歩みビデオ上映、河野太郎国務大臣による祝辞、落合平塚市長、福澤平塚商工会議所会頭、田中ガバナー、原田シキホール・セントラルRC（フィリピン）会長他の祝辞、シキホール島水道施設プロジェクト（財団グローバル補助金による）にたす感謝のビデオレター、更にアキノ・フィリピン大統領の感謝状の伝達等々盛沢山の内容で、平塚湘南さんの勢いを感じさせる盛会でした。

記念祝賀会：湘南和太鼓「絆」メンバーによる腹の底にまで響き渡る勇壮な和太鼓演奏、ピアノ・バイオリン演奏、最後は「手にてつないで」の合唱でお開き(21:35終了)

2. ロータリーデー：10時紅屋町公園集合
第8グループの7クラブ合同で2月21日(日)Rotary Day(ロータリー創立記念日)に合わせて、平塚駅周辺・中心街で清掃活動を行いました。当日は朝から快晴の温かい日となり、7クラブで総勢81名が参加し、我がクラブからは2名が参加しました。
ロータリーデーの平塚市中心街のクリーンキャンペーン

ンは今年で2年目になります。この日は世界各地で奉仕活動が行われています。

この日のゴミ収集量はゴミ袋20個分、軽トラック1台分となりました。

ロータリー公共イメージ調査アンケートの採取を行い8グループ合計で202回答(うち大磯は29通)を頂く事が出来ました。

清掃終了後、平野ガバナー補佐、田中ガバナーからの挨拶で終了(11:50)となりました。



3. 会員増強：会員候補者のリストを配布しました。推薦者は速やかに推薦書を作成お願いします。各人別のアプローチ計画を作成して動く事にしたいと思いますので、よろしくお願いします。

◇幹事報告

1. ロータリー手帳購入依頼が来ています。申し込み下さい。
2. 例会変更：平塚南RC
3. ハイライトよねやま191
4. ガバナーからクラブ表彰・賞に応募の招 請：会員増強賞、RI会長賞等。
5. 2014年度の年次報告書と卓話のお願いが来ています。
6. 親睦テニス会(上野杯)の案内：4月12日(火)9:30 湘南ローンテニスクラブ
7. 2016年3月のロータリーレート120円

=26日に日本事務局から1ドル116円と訂正が入りました=



井上浩吉直前幹事

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

- ・守屋紀忠さん：斎藤先生、卓話よろしくお願ひします。
- ・新宅文雄さん：斎藤ドクター卓話よろしくお願ひ致します。
- ・田中敏治さん：こんにちは、斎藤先生、卓話たのしみです。宜しくお願ひ致します。

百瀬恵美子さん



◇卓話

◆◆◆伝えたい！正しい日本の歴史◆◆◆

斎藤 正淳さん



80才を過ぎてから考える事に皆さん若い人達に昔の話をよくして「正しい」、「違う」例えば「慰安婦」の問題などを間違っているとらないように正しい事を教えて行きたい。「デモ」の問題、「日米」、「日ソ」そういったものを知っている限り正しいものを伝えたい。年の功で古い事を良く知っていますから、現実に自分の目で見ていますから。この間も「戦争法案反対デモ」がありました。決して戦争法案ではありませんがそういうテーマを振ると攻めやすい。それを聞いた人で深く物事を考えない人は「戦争は嫌だ」とすぐ署名をしてしまう。誰だって戦争は嫌です。日本が第2次世界大戦で失った人命は310万人。うち兵隊が150万人くらい、半分が民間人です。戦争は嫌だ嫌だと言っても向こうから来る—どうするか…。

日米安全保障条約：

講和条約締結の条件として吉田茂首相が昭和27年に締結した：1950年に朝鮮戦争があり、中ソ合体、米ソ冷戦で極東に米軍が駐留する必要があった。日米講和条約が締結されれば米軍は日本から撤退しなければならないため講和条約締結に応じなかった為。吉田首相はサンフランシスコで午前中講和条約に調印し、午後安保条約に署名している＝米軍の駐留は認める、日本の守りはアメリカに依頼するという独立国としては情けない内容であったが、この締結がなければ日本は独立できない。やむを得ず吉田首相が締結したものです。

講和条約は当時議会では単独講和と言われました。それに対して全面講和と言う事が言われました。実態は40数カ国(ロシア、白ロシア、ウクライナ3カ国を除く)との講和条約でした。これを新聞は全面講和か単独講和かと言いつつ立てました。東大総長までが全面講和でなければ駄目だと言いつつ張りました。40数カ国から3カ国を除く国と講和条約を結んだ事実にも拘わらず、未だに誤解している人が多くいますよく考えないと間違える事が沢山ありました。

60年安保は岸首相が締結しました。安保条約で吉田さんが一番困った事が期限が決められてなかった(無期限を意味する)事でした。アメリカの都合で期限をつけなかった。それを岸首相は10年とはっきり期限をつけた事。もう一つアメリカは日本が攻められたら守らなければならないが、アメリカが攻められても日本はアメリカを守らなくてもよいと言うところまで持ち込んだ。あの条約を読んで、私は反対する理由はないと思った。吉田さんの時よりずっと良くなったから。ところが樺美智子さんがデモ中に押し潰されて、そんな事は何処かへ吹っ飛んでしまい、岸を倒せ!!!になってしまった。当時私は医師になったばかりで、千代田区の病院にいました。そこへ倒された人達がドンドン運ばれてきます。保健も何も関係なくドンドン応急処置をして帰します。何処へ帰るか分かりませんがドンドン担いで連れて行きます。その後警官が来てカルテを見せるよう要求しますが我々は医師の守秘義務と言う事で応じませんでした。そこに来た連中は本当に考えて来たかどうか？後日平塚の病院にいたときに色んな学校から医師が来ていましたから、あのデモの時はどうしたかと尋ねると、あの時は各大学に全学連から人数の割り当てが来た、それで皆でカンパして東京に行く連中の費用を出し合った。東京に行く連中は汽車に乗って東京見物に行く様な気持ち。デモを一緒にしなければ只で電車賃を貰って飯を食ってだけで

は申し訳ないと思ってやって来た。条約の中身などは何も知らない…。そんなものでした。

立川基地拡張阻止：デモで全学連が強烈に反対運動をした。その時怪我人が出るので我々医師に医療班としてきてくれ=善意で報酬無し=と頼まれた。毎日のように怪我人が出ている報道を聞いているので、実態はどうかを見たいと思って行った。デモ隊のプラカードの棒の先は竹槍のように尖っていた。看板をはずせば槍になる。=槍倉対警官の棍棒の戦=双方密集して本当に熱くなって突撃してぶつかるので双方に怪我人が出る。どちらもどちらだが、新聞は警官のためにデモ側にあれだけの怪我人が出たという報道をする。

新聞だけ、テレビだけを見ていると=そのように見せられると間違える。

若い人達に言いたいのは、表面だけ見るのではなく、右から左の両方の言い分を聞いてどちらが真実に近いかと言う事を知っておく事が良いと思います。

戦争前は暗黒時代？良い時代？

戦後生まれの方は戦争前は暗黒時代のように思われているかも知れません。私が生まれたのは昭和7年ですが、日中戦争が始まったのが昭和12年です。小学校入学は14年。この頃までは本当に平和で食べ物も一杯ありましたし、クリスマスをしたしレストランでアイスクリーム等不自由なく食べられました。大正末年から昭和7年までインフレが一切無かった。昭和4年ブラックマンデー(アメリカ恐慌)があつて世界中不景気になり就職難になり、大学卒者が1割、東大出の学生の就職率が4分の1しかなかった。昭和6年満州事変が始まり好景気になり昭和9年まで就職難は一切無くなりました。人が足りないので給料が上がる、それで物価が上がらななかつた。昭和15年頃から物価が上がり始めましたが日本は非常に平和でした。歌では「うちの女房にゃ髭がある」、「二人は若い」とても楽天的な歌です。うちの姉がとても嬉しそうに歌っていました。戦前の日本は若い人達は暗黒時代だったと教わっているかも知れないけれどそんな時代では決してなかつた。

通州事件：昭和12年盧溝橋事件のあと2週間くらいして北京郊外の通州というところで日本人が350人＝半分が日本人、半分が朝鮮人(当時は日本人)＝虐殺されました。通州の日本軍が盧溝橋に移動した隙を日本軍が教育した中国人保安隊が襲撃した。そ

の殺し方が残虐を極め、その報道が凄かった。盧溝橋事件よりもそちらの事件で世論が燃え上がった。そこで躍り出た言葉が「暴支膺懲^{ぼうしやうちやう}」、新聞の第一面にドンと出てきました。

上海事変：ドイツ軍によって教育訓練を受けた蒋介石の精鋭部隊が兵を挙げた。日本人は日清戦争で勝利した事から支那兵は弱い、日本兵一人で支那兵4人と思って馬鹿にしていた。ところがドイツ軍の訓練を受けた軍隊は強く、高をくくって攻めた日本の陸戦隊が略全滅させられた。そこで陸軍は二個師団を派遣したがドイツの訓練とドイツの兵器を持った敵を前に一步も進めなかった。この時生まれた美談が爆弾三勇士で新聞が猛烈に書き上げた。この三人は久留米の部隊の人達で軍神と奉られ、各地に銅像が建った。だが軍神の実像は違うものであった。

このように書き立てると新聞がよく売れた：当時の有名な新聞は毎日と朝日で共に東京、大阪にありました。この新聞の売り上げが昭和7年から15年にかけて倍増しています。景気が良くなった事が一つ、政府の統制が厳しくなった来て、新聞を採ってないとその情報が分からない、もう一つはこの2社に対して、読売、時事通信などが猛烈に戦意を煽るように書き立てた事。現地に行って写真を沢山撮って、勝った勝ったと写真を載せると売れ行きが上がる。各新聞社が猛烈に競争しました。今の三大紙はその時出来上がったようなものです。

話題作りに日本の飛行機が如何に優れているかを喧伝するために、東京ーロンドン間を何時間で飛べるかを公募したり、日本の飛行機が如何に早く世界一周出来るかを宣伝する事で新聞が売れる。

またその時出てきた話が、上海を3個師団で攻め落とし、南京まで攻め込むまでの間に二人の将校が相談し、軍刀でどちらが早く100人の首を切り落とすか賭をしたと毎日新聞が報道しました。後でそんな話はなかった事が分かった。第一刀が保たない。その記事を書かれた二人は中国政府に処刑されています。毎日の記者は最後まで口を割っていないが、死んだ後になって私は嘘を書いたと言っていたと分かった。

南京虐殺事件：

苦勞して南京を占領した時の人口は40万くらい(上海は250万くらい)でした。そこで30万人殺したと言う。40万人中30万人殺した等あり得ないでしょう。南京を攻めたとき、蒋介石は南京の司令官に開城

(降伏)するよう指令したが指令官は戦うと宣言し、日本軍の攻撃が始まった。すぐ翌日開城すると言ったが、そこで幾何かの犠牲はあったと思うが、30万人とは考えられない。

若い人達に申し上げたい事は：

煽られるとその気になってしまう。嘘でも100回言われると本当になります。回りが皆そう言ってご覧なさい、本当に聞こえます。それを文章にするとそれが歴史になる。歴史とは飽くまでも勝者の記録です。敗者は書けません。



今から申し上げる名前を知っているか聞きます。**埴田右衛門、後藤又兵衛、木村重成**、この人達の名前は私の子供の頃は100%知っていましたが、今は殆ど聞かなくなった。どうしてか？この人達は豊臣方で徳川家康と戦い大坂夏の陣で戦死した人達です。真田十勇士、(本当は10人いないが物語で創った)それは徳川幕府を倒して明治政府を作った薩長が徳川というのは悪い奴だと宣伝するために大坂夏の陣で亡くなった豊臣方の人達を英雄に仕立てた。子供達がチャンバラごっこをする時に俺は後藤又兵衛だと名乗ってやっていた。しかし薩長政府の名残は終戦で無くなってしまったので、この英雄達も無くなった。時代によって出てくる人は違って来る。徳川時代にこの英雄達は出てこなかったでしょう。

朝鮮統治時代：資料配付 編者コメント

現在日韓問題が大きく取り上げられて日本が朝鮮統治時代、朝鮮人を苦しめた事ばかりが喧伝されているが、日本が行った投資、施策が如何に朝鮮を豊かにしたかを計数的に考察された韓国人の著書の紹介がありました。

統治する前1910年まで300年間変わらなかった1300万人の人口が統治の終わった1945年には2,900万人、2.21倍に増加。貿易額は40倍に増加。数字が客観的に雄弁に事実を語っています。

以上